

2002年10月21日

[参考資料・リリース抜粋日本語訳]

ノバルティス（スイス）が発表しました、2002年1-9月の業績に関するリリース抜粋の日本語訳をご参考までにお届けします。

ノバルティス ファーマ株式会社

バーゼル発2002年10月17日

ノバルティス 2002年1-9月の業績は堅調に推移 売り上げは11%増（現地通貨ベース）を達成

- ノバルティス グループ全体の売り上げは、医薬品とジェネリックの堅調な成長により、現地通貨ベースで11%増（スイスフランベースで4%増）を達成。
- 医薬品は、2002年を通じてすべての主要市場において業界平均を上回る業績を達成し、売り上げは現地通貨ベースで13%増（スイスフランベースで5%増）。循環器領域およびオンコロジー領域が牽引力に。
- 営業利益は引き続き二桁の成長を達成（11%増）。
- 卓越した業務パフォーマンスと、困難なマーケット状況が続いたにもかかわらず、金融収益が比較的良好的水準だったことにより、純利益は4%増。
- 株式買い戻しプログラムにより、1株当たり利益は6%増。
- 2003年第1四半期から、米ドル建てでのレポートに変更の予定。

主要連結財務データ
9か月（1～9月）

	2002年			2001年			増減 %	
	百万 スイスフラン	億円	対売 上%	百万 スイスフラン	億円	対売 上%	スイスフラン ベース	現地通貨 ベース
グループ全体の売り上げ	24 247	19 883		23 384	19 175		4	11
営業利益	5 919	4 854	24.4	5 353	4 389	22.9	11	13
純利益	5 603	4 594	23.1	5 412	4 438	23.1	4	
1株当たり利益/ADS（米 国預託株式（スイスフラン・円））	2.22	182.0		2.10	172.2		6	
社員数（人）	74 236			70 749			5	

換算レート：2002年 1スイスフラン=82円 2001年 1スイスフラン=82円

本リリースで用いられている日本円表示の金額は、すべて便宜的に1スイスフラン=82円の為替レートでスイスフランを日本円に換算したものである。これらの換算金額は、このレートまたはその他のレートでスイスフランの額を実際に日本円に換えられる額を示すものと解してはならない。

すべての「」で表記されている製品名は、ノバルティス グループによって商標登録されている。

第3四半期 (7~9月)

	2002年 第3四半期			2001年 第3四半期			増減 %	
	百万 スイスフラン	億円	対売 上%	百万 スイスフラン	億円	対売 上%	スイスフラン ベース	現地通貨 ベース
グループ全体の売り上げ	7 993	6 554		8 117	6 656		-2	10
営業利益	1 962	1 609	24.5	1 873	1 536	23.1	5	9
純利益	1 755	1 439	22.0	1 683	1 380	20.7	4	
1株当たり利益/ADS (米 国預託株式 (スイスフラン・円))	0.71	58.2		0.66	54.1		8	

バーゼル発、2002年10月17日

ノバルティスの会長兼最高経営責任者であるダニエル・バセラは、本日発表された業績について、次のように述べています。「私たちの好調な業績は、主に医薬品ビジネスの堅調な成長に牽引されました。特に、循環器領域とオンコロジー領域でのフランチャイズの拡大によって、さらにマーケットシェアが増大しました。『グリベック』『ゾメタ』などのがんの患者さんのための治療薬や『ゼルノーム』『エリデール』など、革新的な新製品の上市によって、成長のペースがさらに加速されました。その一方で私たちは、長期的な成長にもフォーカスし、引き続き研究開発への投資を強化していきます」

ノバルティスは現在、米国でグループ全体の売り上げの43%を得ており、その医薬品市場は世界最大で、最も急速な成長を続けています。業績を最も良く反映し、また為替レートの変動による影響を抑えるために、2003年第1四半期より、財務結果レポートを米ドル建てで行う予定です。

グループ全体の売り上げは11%増の242億スイスフラン

グループ全体の9ヵ月(1-9月)の売り上げは、現地通貨ベースで11%増(スイスフランベースで4%増)、第3四半期では現地通貨ベースで10%増(スイスフランベースで2%減)で、昨年達成した高い業績をさらに上回る結果となりました。主に、医薬品とジェネリックでの販売量の堅調な増加が、売り上げ増の10%に貢献し、スイスフラン高による7%の為替差損の影響を相殺しました。売り上げ増の残りの1%は、価格の上昇によるものです。

営業利益は11%増(スイスフランベース)の59億スイスフラン

研究開発費はもとより、新製品上市と主力製品の売り上げ増大をサポートするために、販売費も増加されました。全体として、生産性向上と製品ミックスの改善により、経費の増加ペースは売り上げの伸びを下回り、その結果、営業利益はスイスフランベースで11%増の59億スイスフランとなりました。

純利益は4%増で56億スイスフラン

困難なマーケットにもかかわらず、純金融収益(8億3,600万スイスフラン)が比較的良好的な水準を達成したことと、さらに営業パフォーマンスが堅調であったことが、9ヵ月の純利益を4%(スイスフランベース)押し上げ、56億スイスフランを達成しました。税金は税率17.0%(前年17.7%)で、12億スイスフランとなりました。

2002年度の見通し(予想しがたい要因を除く)

ノバルティスの2002年度通年での売り上げは、医薬品の好調に牽引され、堅調な成長が見込まれています。医薬品の売り上げは、主要ブランドの好業績と新製品の上市などに支えられ、現地通貨ベースで通年の目標である10%前後の成長が見込まれます。

事前に予想したとおり、米ドルおよび日本円に対するスイスフラン高が継続しています。すでに、今年度の米ドルおよび日本円における取引エクスポージャーについては、十分にヘッジがなされているため、スイスフラン高の影響は軽減されていますが、ノバルティスの通年の業績にかなり大きな影響を及ぼすと見られます。

現状のマーケット環境では、純金融収益について予想することは非常に困難ですが、昨年の記録的な高レベルよりはやや下回るものと予想されます。

予想しがたい要因を除けば、営業利益と純利益はともに昨年レベルを上回ると見込まれます。

部門およびビジネスユニット別業績

1-9月期

	2002年		2001年		増減	
	百万 スイスフラン	億円	百万 スイスフラン	億円	スイスフラン △-△ (%)	現地通貨 △-△ (%)
医薬品	15 679	12 857	14 896	12 215	5	13
コンシューマーヘルス	8 568	7 026	8 488	6 960	1	8
ジェネリック	2 020	1 656	1 757	1 441	15	24
OTC	1 753	1 437	1 866 ¹	1 530	-6	0
アニマルヘルス	746	612	715	586	4	12
医療用栄養食品 ²	1 118	917	1 142 ¹	936	-2	3
乳幼児用栄養食品	1 591	1 305	1 642 ¹	1 346	-3	5
チバビジョン	1 340	1 099	1 366	1 120	-2	5
合計	24 247	19 883	23 384	19 175	4	11

第3四半期

	2002年		2001年		増減	
	百万 スイスフラン	億円	百万 スイスフラン	億円	スイスフラン △-△ (%)	現地通貨 △-△ (%)
医薬品	5 133	4 209	5 207	4 270	-1	10
コンシューマーヘルス	2 860	2 345	2 910	2 386	-2	9
ジェネリック	738	605	636	522	16	28
OTC	590	484	652 ¹	535	-10	-1
アニマルヘルス	234	192	225	185	4	17
医療用栄養食品 ²	358	294	365 ¹	299	-2	5
乳幼児用栄養食品	498	408	547 ¹	449	-9	6
チバビジョン	442	362	485	398	-9	0
合計	7 993	6 554	8 117	6 656	-2	10

換算レート：2002年 1スイフラン=82円 2001年 1スイフラン=82円

¹ 小売業者に対する一部の売上インセンティブと値引きの区分変更により、計算し直した。2001年1-9月期においてOTC、医療用栄養食品、乳幼児用栄養食品の売り上げは、それぞれ8,800万スイフラン、3,600万スイフラン、1億7,600万スイフラン減少しており、これに連動して販売費も減少している。

² 健康・機能性食品を含む。

医薬品

売り上げ

ノバルティスの中核ビジネスである医薬品の売り上げは、9ヵ月（1-9月）では現地通貨ベースで13%増（スイスフランベースで5%増）で157億スイスフラン、第3四半期では現地通貨ベースで10%増（スイスフランベースで1%減）を達成しました。ダイナミックにフランチャイズを拡大するオンコロジー領域と循環器領域の主力製品である、「ディオバン」「ロトレル」「グリベック」「ゾメタ」「サンドスタチン」が成長を牽引しました。

「エリデール」「ゾメタ」「ゼルノーム」などの新製品の上市の成功、「ロトレル」の新用量追加、「ビスダイン」の適応追加、「レスコール」の処方拡大などのすべてが、売り上げ増に寄与しました。すべての地域で二桁の売り上げの伸びを達成し、日本でも薬価改定（引き下げ）があったにもかかわらず、売り上げは14%増となりました。ヨーロッパにおいては、いくつかの国での価格抑制、ドイツにおける強制的なジェネリック製品への置き換え、ドイツと英国における並行輸入などの影響がありましたが、フランスとスペインの好業績がこれらを相殺しました。

営業利益

9ヵ月の医薬品の営業利益は、9%増で45億スイスフランとなりました。対売り上げ比で見ると、売上原価は製品ミックスの刷新と生産性向上の結果、わずかながら改善しました。販売費は、「エリデール」の市場浸透と米国における「ゼルノーム」の上市を推進するために、対売り上げ比が増加しました。新しい研究戦略の実施と新たなボストンのリサーチセンター設立によって、研究開発への投資は4%増加しましたが、対売り上げ比は17%を維持しました。

ハイライト

ブラマリーケア

高血圧症治療薬 **ディオバン/コディオバン**（52%増、米国：48%増）は、米国におけるアンジオテンシン 受容体ブロッカー（ARB）カテゴリーでのリーディングポジションをさらに強化し、新規処方の38%以上を獲得しました。8月には、このノバルティスにとって最も重要な降圧剤が、米国において心不全治療薬として承認を取得した、初めてのそして唯一のARBとなりました。また、「コディオバン」の新たな高用量製剤が米国で上市され、患者さんと医師にフレキシブルでより幅広い治療の選択を提供しています。

高血圧症治療薬 **ロトレル**（米国：39%増）も、新規処方シェアを拡大しました。7月には、新たな製剤（10mgアムロジピン+20mg塩酸ベナゼプリル）が上市されました。ACE阻害剤のベネフィットが加わって、ロトレルで治療を行っている患者さんの90%が、治療目標の血圧に達したと医師や患者さんから高い評価を得ています。

高コレステロール血症治療薬「レスコールローコール」(22%増、米国：19%増)の売り上げは、特にその優れた安全性と有効性のプロフィール、そしてXL錠(徐放性製剤)の簡便性が支持され、ヨーロッパでダイナミックに伸び、その他の地域でも堅調でした。8月には米国で、血管形成術後患者における心血管イベント二次予防に対する適応追加が申請されました。

抗真菌薬「ラミシル」(0%、米国：8%減)の米国での売り上げは、真菌症市場の縮小により減少しました。

湿疹治療薬「エリデル」は、現在すでに米国を含む23カ国で上市されており、ヨーロッパではすでに相互認証方式が完了しています。9月末までの売り上げは、8,800万スイスフランに達しました。このかなり効果の高い非ステロイド性クリームは、わずか6ヵ月で、米国で湿疹治療の局所製剤としてNo.1ブランドになり、新規処方55%を獲得しました。

オンコロジー

ノバルティスのオンコロジー事業部門は、さらにマーケットシェアを拡大し、現地通貨ベースで27%増(スイスフランベースで19%増)と堅調な成長を記録しました。グローバルのオンコロジー市場でノバルティスは第3位となり、トップ5のオンコロジー企業の中で、最も急速に成長しています。

慢性骨髄性白血病(CML)および消化管間質腫瘍(GIST)の治療薬「グリベック」は、世界80カ国以上で、非常に多くの患者さんにベネフィットをもたらしました。予想を大きく上回り、9ヵ月の売り上げは6億6,100万スイスフランに到達しました。特に英国、オーストラリア、ニュージーランドで、保険払い戻しプロセスに大きな進展がありました。米国では、CMLの初発患者に対する第一選択薬としてのグリベックの処方についての申請が、優先審査されることが了承されました。またヨーロッパでも、EUの医薬品委員会(CPMP: Committee for Proprietary Medicinal Products)からすでに承認勧告を取得しています。

悪性腫瘍の骨転移治療薬「ゾメタ」は「アレディア」の後継薬で、より簡便で効果が高く、5億500万スイスフランの売り上げを達成し、世界で最も有力なビスフォスフォネートとなりました。「ゾメタ」は幅広いがんを対象とした悪性腫瘍の骨転移治療薬として、今年初めの米国での承認に続き、7月にはヨーロッパで承認されました。

悪性腫瘍の骨転移治療薬「アレディア」(60%減、米国：78%減)の売り上げは、いくつかの市場における複数のジェネリックの参入により減少しました。

ホルモン過敏性の閉経後の進行性乳がん治療薬の第1選択薬「フェマーラ」の売り上げは、43%増(米国：66%増)で1億9,900万スイスフランを記録しました。「フェマーラ」は、米国における転移性乳がんのファースト・セッティング治療で、リーディングポジションを獲得しています。

末端肥大症治療薬「サンドスタチン」は、簡便で、1ヵ月1回投与の徐放性製剤LARの市場浸透が引き続き成功し、売り上げは堅実に二桁成長を遂げ、24%増(米国：37%増)の7億1,900万スイスフランを達成しました。

眼科

眼科事業部門は、主に「**ビスサイン**」の好調により、現地通貨ベースで13%（スイスフランベースで5%）の売り上げ増となりました。

加齢黄斑変性に伴い発症する脈絡膜新生血管形成の治療薬「**ビスサイン**」の売り上げ（29%増、米国：23%増）は、3億3,200万スイスフランを記録しました。「**ビスサイン**」による治療は、その主要な適応が現在65カ国以上で承認されており、EU、米国、カナダを含む40カ国以上で追加の適応症が承認されています。8月には、オカルト型加齢黄斑変性への適応が、EUにおいて承認されました。

移植 免疫

9カ月の売り上げは、現地通貨ベースで2%減（スイスフランベースで9%減）でした。「**ネオオーラル**」での治療が順調で状態が安定している患者において、薬剤の切り替えによって、薬剤の血中濃度が不安定になることを避けることが重要と考えられているため、ジェネリックや他のブランドの競合品による「**ネオオーラル**」への攻勢が限定されました。

免疫抑制剤のスタンダードである「**ネオオーラル/サンディミュン**」の売り上げ（4%減、米国：9%減）は、日本でのマーケットシェアの拡大によって支えられ、他の地域における価格抑制とジェネリックの攻勢によるマイナス影響を部分的に相殺しました。

「**ネオオーラル**」を補完し、その臨床効果を最適化する目的で開発された「**シムレクト**」は、日本での上市の成功と、大部分の国や地域で、すでにその市場での地位を確立していた競合製品から、引き続きシェアを奪取したことによって、24%（米国：10%）の売り上げ増を記録しました。

マチュアプロダクト

選択された主要製品と市場へ投資を集中した結果、全体として、マチュア製品の売り上げ減少傾向は引き続き緩やかでした。

鎮痛・抗炎症薬「**ボルタレン**」（4%減）は、引き続きジェネリックやCOX-2阻害剤との競合によく健闘しました。ドイツでは、片頭痛の適応追加により、売り上げ増加の機会をつかみました。

ジェネリック

ジェネリックの売り上げは、価格の2%引き下げにもかかわらず、販売量の増加によって、現地通貨ベースで24%増（スイスフランベースで15%増）で20億スイスフランとなりました。特に、米国での新製品の上市と新マーケットへの拡大による売り上げ増が、貢献しました。

8月、ノバルティスは、スロベニアの大手製薬会社レックを、友好的な公開買い付け法によって買収すると発表しました。ノバルティスが提示した買い付け額は、1株あたり9万5,000スロベニア・トラルで、買収額は約12億スイスフランとなる見通しです。この申し入れは、2002年10月28日をもって失効します。

OTC薬

OTC薬の売り上げは、18億スイスフランを達成しました。

アニマルヘルス

アニマルヘルスの9ヵ月の売り上げは、現地通貨ベースで12%増（スイスフランベースで4%増）で7億スイスフランとなり、市場の伸びを上回りました。米国での売り上げは、主として買収したワクチン事業に牽引され、ビジネスユニットの売り上げ増の5%に寄与しました。

コンパニオンアニマルビジネスでは、主力製品の糸状虫駆除薬「**インターセプター**」、糸状虫とノミの駆除薬「**センチネル**」、イヌの心臓病および腎臓病の治療薬「**フォルテコール**」の売り上げの好調により、好業績を達成しました。第3四半期には、主要な市場において、イヌのアトピー性皮膚炎治療薬「**アトピカ**」、イヌの疼痛治療薬でCOX2阻害剤「**デラマックス**」、ネコおよびイヌの糸状虫駆除薬「**ヨレマックス**」など、多くの新製品が上市されました。

畜産動物用ビジネスは、英国市場の口蹄疫からの回復の好影響を受け、抗生物質に牽引され引き続きダイナミックな成長を達成しました。

ワクチンと水産薬のビジネスは大幅に売り上げを伸ばし、ビジネスユニット全体の売り上げの8%を占めています。

医療用栄養食品

医療用栄養食品と健康・機能性食品の合計売り上げは、現地通貨ベースで3%増（スイスフランベースで2%減）の11億スイスフランでした。

乳幼児用栄養食品

乳幼児用栄養食品は、引き続き市場成長を上回るペースで推移し、9ヵ月の売り上げは現地通貨ベースで5%増（スイスフランベースで3%減）で、16億スイスフランを達成しました。

チバビジョン

9ヵ月の売り上げは、コンタクトレンズ領域での競合を上回る販売量増大に牽引され、現地通貨ベースで5%増（スイスフランベースで2%減）で13億スイスフランとなりました。

1日使い捨てソフトコンタクトレンズの「**フォーカス・デイリーズ**」と「**Focus NIGHT & DAY**」が引き続きダイナミックな成長を遂げました。コスメティック・コンタクトレンズの需要の拡大で、カラーコンタクトレンズ「**フレッシュルック**」が、引き続きセグメント・リーダーの地位を維持しました。また、「**FreshLook Radianc**」がいくつかの市場で上市され、米国でも今年後半には承認が期待されています。世界初で、唯一の乱視矯正用1日使い捨てコンタクトレンズの「**フォーカス・デイリーズ トーリック**」が、ヨーロッパで上市されました。

眼科用サージカル事業は、白内障手術の短縮を可能にする、粘弾性物質と麻酔の混合された「VisThesia」や、「Vivarte」老視用の有水晶体屈折矯正レンズ、さらに有水晶体屈折矯正レンズ（PRL）の挿入をより簡便にする挿入インジェクターなどの革新的な製品によって、業績が向上しました。また、チバビジョンは、緑内障治療のための革新的で、病状への負担を最小限にとどめる「Ex-PRESS（~~ニ~~緑内障シャント）」の米国およびカナダでの独占的な販売権を取得しました。

レンズケア事業は縮小傾向にある市場、特に米国市場において、引き続き厳しい競争に直面しました。その結果、売り上げは減少しましたが、他の地域での売り上げと日本での「ワレッシュルック・ケア」の上市によって、支えられました。

ノバルティスは、医薬品およびコンシューマーヘルスの世界的リーダーです。ノバルティスグループの2001年度の売り上げは320億スイスフラン（約2兆6,240億円）、純利益は70億スイスフラン（約5,740億円）です。研究開発には約42億スイスフラン（約3,444億円）を投資しています。スイス・バーゼル市に本拠を置くノバルティスは、約74,000人の社員を擁し、世界140カ国以上で事業を行っています。詳細は、<http://www.novartis.com> をご覧ください。

上記の発表には、現時点での将来への予想と期待が一部含まれております。従って、その内容に関しては、また将来の結果については、不確実な要素や予見できないリスクなどにより、将来の結果が現在の予想と異なる可能性があることをご了解ください。なお、詳細につきましては、ノバルティスが米国証券取引委員会に届けておりますForm 20-Fをご参照ください。

今後の業績発表予定

2002年度（通年）業績は、2003年1月23日、スイス・チューリッヒで開催される、ノバルティス業績発表カンファレンスと連動して発表される予定です。

2002年度1-9月 医薬品売り上げ上位20製品

製品名	適応	百万		前年比%	
		スイスフラン	億円	スイスフランベース	現地通貨ベース
ディオバン/コディオバン	高血圧症	1 874	1 537	41	52
チバセン/ロテンシン	高血圧症	1 309	1 073	16	24
ネオラル/サンディミュン	移植、慢性関節リウマチ、乾癬	1 241	1 018	-11	-4
ラミシール(グループ)	真菌症	998	818	-7	0
サンドスタチン(グループ)	末端肥大症	719	590	16	24
ボルトレン(グループ)	炎症/疼痛	696	571	-13	-4
グリベック	慢性骨髄性白血病	661	542	372	411
レスコール/ローコール	高コレステロール血症	648	531	14	22
ゾメタ	悪性腫瘍による骨合併症	505	414	N/A	N/A
ミアカルシック	骨粗鬆症	491	403	-10	-5
トップ10製品トータル		9 142	7 496	20	29
テグレートル	てんかん	429	352	-15	-7
アレディア(グループ)	悪性腫瘍による骨合併症	374	307	-62	-60
レボネックス /クロザリル	治療抵抗性の統合失調症	369	303	-8	-2
ホルモン置換療法シリーズ	ホルモン置換	353	289	-3	4
エクセロン	アルツハイマー病	348	285	12	20
ビスダイン	加齢黄斑変性	332	272	20	29
フォラジール	ぜんそく	306	251	8	13
トリレプタール	てんかん	298	244	75	92
ファンビル	抗ウイルス剤	260	213	6	13
フェマーラ	閉経後乳がん	199	163	35	43
トップ20製品トータル		12 410	10 176	10	18
その他の製品		3 269	2 681	-9	-1
全製品トータル		15 679	12 857	5	13

2001年度の業績は、一部製品の他セクターへの移管の売り上げに基づいて集計し直した。

N/A：前年度の売り上げがない、あるいは比較できないものを示す。

本リリースで用いられている日本円表示の金額は、すべて便宜的に1スイスフラン = 82円の為替レートでスイスフランを日本円に換算したものである。これらの換算金額は、このレートまたはその他のレートでスイスフランの額を実際に日本円に換えられる額を示すものと解してはならない。